

茨木保健所運営協議会開催結果報告書

令和7年度 第1回	日時	令和7年6月30日(月)	出席者	委員	20名	協議 員 名	会長	上野 豊
	場所	茨木保健所 5階 大会議室		職員	19名		副会長	山内 榮樹
議 事	議事の要点	委員の意見	保健所の回答				付記	
大阪府茨木保健所の 事業概要について	茨木保健所の主要事業と概要説明	意見なし						
保健所における災害への取組	保健所における災害への取組について説明	意見なし						
レジオネラ症発生防止対策 としての設備管理について	レジオネラ症発生防止対策としての設備管理について 説明	レジオネラ症の発生件数や増減などの傾向は、どのような状況となっているか。	大阪府全域のレジオネラ症の発生動向は、過去4年間と比べて大きな差はみられない。大阪健康安全基盤研究所(大安研)のホームページに発生状況のデータが掲載されているが、大阪府でレジオネラ症(肺炎型)の発生届出は年間130件程度である。今年は、6月22日までの集計で55件となっている。					
		万博の関係で、レジオネラの検査方法が生菌PCR法と培養法の2種類あり、万博に関しては培養法で大丈夫だったとお聞きしたところ。茨木保健所においては、どのような検査を実施されているのか。	当保健所が立入等で通常実施している検査は、培養法により実施している。					
その他	保健所事業に関する全般的なご意見	ギャンブル依存症について、市町村でどのように取り組んでいくのがよいか。 薬物乱用については、学校教育で実施しているが、ギャンブル依存症について教えていただきたい。	こころの健康総合センターにおいて、高校生を対象とした教員向けの啓発ツールを作成している。ツールでは、ギャンブルやアルコール、薬物などの依存症の知識や対応を盛り込んでおり、御活用いただけるのではないかと考えている。教員などを対象とした研修会も実施しており、こころの健康総合センターのホームページ(こころのアセス)に研修案内が掲載される。保健所においても、支援者向けの研修会を実施している。今年度は若者に多い依存症に関する講演会の開催を検討している。					